



【取組内容】

- 顧客が関心のある社会課題の名前を冠した**定期預金に預入れることによって、SDGsの課題解決に取り組む団体に寄付**がされる。
- 預入金額は10万円からと低く設定し、**幅広い顧客ニーズに対応。継続的な応援ができる仕組み。**
- 「こどもの自立支援」、「こどもの医療支援」、「障がい者スポーツ支援」及び「環境保護」の4つのテーマで8地域、13の応援先を用意。
- 預金残高は約500億円。**

SDGs実施指針における実施原則（本アワード評価基準）

普遍性	預金残高の一定割合を寄付する預金は、全国の金融機関で取扱可能であり、国内外の地域密着型金融のロールモデルとなり得る。
包摂性	HPのみでなく大和証券の全国の営業店を活用することにより、若年層から高齢者層まで幅広い層を対象にした取組。
参画型	グループ社員の参加を促進するため、関係各部署へ働きかけを実施。日本全体のムーブメントとなるべく活動。
統合性	「預金」という金融機関の代表的な商品を通じて、一般顧客と社会的な課題解決に取り組む団体の有機的な結合を実現。
透明性と説明責任	寄付額や寄付金使途は、HPを中心に公表。社内外でのアンケートの実施や営業員経由の顧客の声を活用し、商品の改善を行っている。

